

令和6年度

事業実績報告書

学校法人 福山大学

令和6年度 学校法人福山大学事業実績報告書

令和7年5月21日

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名 福山大学
理事長名 鈴木 省三
住 所 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
電話番号 084-936-2111
FAX 番号 084-936-2213
U R L https://www.fukuyama-u.ac.jp/Information_disclosure/
設置大学 福山大学 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
福山平成大学 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
※学部・学科等については3頁に記載のとおり。

(2) 建学の精神

【福山大学】

福山大学は、地域社会に広く開かれた大学として、学問にのみ偏重するのではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行う。

【福山平成大学】

福山平成大学の建学の理念は、あくまでも人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育を行うことである。

(3) 学校法人の沿革

昭和50年 1月10日	学校法人福山大学及び福山大学設置認可。
昭和50年 4月 1日	福山大学開学。経済学部（経済学科）、工学部（電子・電気工学科、土木工学科）開設。
昭和51年 4月 1日	福山大学工学部建築学科開設。
昭和54年 4月 1日	福山大学大学院工学研究科（電子・電気工学専攻修士課程、土木工学専攻修士課程）開設。
昭和57年 4月 1日	福山大学薬学部（薬学科、生物薬学科）開設。
昭和61年 4月 1日	福山大学工学部情報処理工学科、生物工学科開設。
昭和62年 4月 1日	福山大学大学院薬学研究科（医療薬学専攻修士課程）開設。
平成元年 4月 1日	福山大学経済学部経営情報学科、工学部食品工学科開設。
平成2年 4月 1日	福山大学大学院工学研究科（生物工学専攻 修士課程）開設。
平成3年 4月 1日	福山大学工学部機械工学科開設。福山大学大学院経済学研究科（経済学専攻修士課程）開設。福山大学大学院工学研究科（情報処理工学専攻修士課程）開設。
平成5年12月21日	福山平成大学設置認可。

平成 6 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科(建築学専攻修士課程)開設。 福山平成大学開学。経営学部(経営情報学科、経営法学科、経営福祉学科)開設。
平成 7 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科「生物工学専攻(修士課程)」を「生命工学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院薬学研究「医療薬学専攻(修士課程)」を「医療薬学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院工学研究科(機械工学専攻修士課程)、工学研究科(電子情報工学専攻博士課程)、工学研究科(生命工学専攻博士後期課程)、薬学研究科(医療薬学専攻博士後期課程)開設。
平成 8 年 4 月 1 日	福山大学経済学部国際経済学科、大学院工学研究科(地域空間工学専攻博士課程)開設。
平成 10 年 4 月 1 日	福山大学工学部海洋生物工学科、大学院工学研究科(設計生産工学専攻博士課程)開設。
平成 11 年 4 月 1 日	福山大学工学部「土木工学科」を「建設環境工学科」に「食品工学科」を「応用生物科学科」に名称変更。
平成 12 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部人間文化学科、同環境情報学科開設。 福山平成大学大学院経営学研究科経営情報学専攻修士課程、同経営法学専攻修士課程開設。
平成 14 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部(生物工学科、応用生物科学科、海洋生物工学科)開設。
平成 16 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部心理学科開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科、健康スポーツ科学科開設。
平成 18 年 4 月 1 日	福山大学経済学部税務会計学科、薬学部薬学科(6年制)開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻、同幼児保育学専攻開設。
平成 19 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科、工学部建築・建設学科開設。福山大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻修士課程開設。 福山平成大学看護学部看護学科開設。
平成 20 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部生命栄養科学科開設、同生命工学部海洋生物工学科を海洋生物科学科に名称変更。 福山平成大学福祉健康学部こども学科開設。同経営学部経営情報学科を経営学科に名称変更。
平成 21 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・電気工学科を電子・ロボット工学科に名称変更。 福山平成大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程、看護学研究科看護学専攻修士課程開設。
平成 23 年 4 月 1 日	福山平成大学助産学専攻科開設。
平成 24 年 4 月 1 日	福山大学大学院薬学研究科医療薬学専攻博士課程(4年制)開設。
平成 26 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・ロボット工学科をスマートシステム学科に、工学部建築・建設学科を建築学科に名称変更。
平成 28 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科を人間文化学部メディア・映像学科に名称変更。
令和 6 年 4 月 1 日	福山大学工学部スマートシステム学科を工学部電気電子工学科に、生命工学部生物工学科を生命工学部生物科学科に、生命工学部生命栄養科学科を生命工学部健康栄養科学科に名称変更。

(4) 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況(令和6年5月1日現在)

【福山大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経済学部	経済学科	332	180	167	690	649
		国際経済学科	34	40	16	190	107
		税務会計学科	69	50	34	200	151
	人間文化学部	人間文化学科	88	50	40	200	185
		心理学科	191	70	77	220	242
		メディア・映像学科	99	50	60	200	190
	工学部	電気電子工学科	51	30	14	120	58
		建築学科	109	70	56	280	227
		情報工学科	111	60	47	210	212
		機械システム工学科	35	50	9	200	77
	生命工学部	生物科学科	75	50	23	200	89
		健康栄養科学科	48	40	26	190	105
		海洋生物科学科	282	110	107	410	424
	薬学部	薬学科(6年制)	330	110	103	860	618
	計		1,854	960	779	4,170	3,334
大学院	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	3	8	2	16	3
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	4	10	3	20	12
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	1	2	1	4	3
		修士課程 建築学専攻	2	3	2	6	3
		修士課程 情報処理工学専攻	4	2	3	4	4
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0
		博士前期課程 生命工学専攻	2	8	2	16	3
		修士課程、博士前期課程 計	16	35	13	70	28
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	0	2	0	6	0
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0
		博士後期課程 生命工学専攻	0	4	0	12	1
	薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	2	3	2	12	3
	博士課程、博士後期課程 計		2	14	2	45	4
	計		18	49	15	115	32
	合 計		1,872	1,009	794	4,285	3,366

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経営学部	経営学科	80	50	45	200	191
	福祉健康学部	福祉学科	54	60	26	240	98
		こども学科	67	50	39	200	162
		健康スポーツ科学科	138	100	98	400	365
	看護学部	看護学科	208	80	75	320	310
	計		547	340	283	1,360	1,126
大学院	経営学研究科	修士課程 経営情報学専攻	0	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程 スポーツ健康科学専攻	2	5	2	10	5
	看護学研究科	修士課程 看護学専攻	3	5	3	10	5
	計		5	15	5	30	10
専攻科	助産学専攻科		20	10	9	10	9
合 計			572	365	297	1,400	1,145

(5) 収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福山大学	学 部	93.1	90.6	87.5	83.2	80.0
	大学院	36.5	40.0	35.7	31.3	27.8
福山平成大学	学 部	85.8	84.0	84.1	83.4	82.8
	大学院	30.0	26.7	26.7	33.3	33.3
	専攻科	70.0	100.0	70.0	90.0	90.0

(6) 役員の概要 (令和6年5月27日現在)

理事数 17人 理事定数 14人以上18人まで

役職名	氏 名	就任年月日	現職等	常勤・非常勤の別	担当する職務内容
理事長	鈴木 省三	H23. 5. 26	(学)福山大学理事長	常勤	経営・財務
副理事長 常務理事	尾崎 史郎	H28. 5. 27	(学)福山大学統括参事・ 福山大学参事	常勤	経営・財務・企画・ 産学連携
副理事長	富士 彰夫	H24. 5. 27	福山平成大学学長	常勤	経営・教育・研究・ 教育連携・国際連携
理事	大塚 豊	H29. 5. 26	福山大学学長	常勤	経営・教育・研究・ 教育連携
理事	岡崎 文憲	H26. 5. 27	(学)福山大学参与・ 福山大学参事	常勤	財務・企画調整
理事	鶴田 泰人	H31. 4. 1	福山大学副学長・薬学部教授	常勤	教育・研究・企画・ 産学連携
理事	川久保 和雄	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・経営 学部長	常勤	教育・研究・企画・教育連携・ 産学連携・国際連携・危機管理
理事	平 伸二	R 2 . 5. 27	福山大学副学長・人間文化 学部教授	常勤	教育・研究・企画・ 危機管理
理事	菌頭 里美	R 4. 5. 27	(学)福山大学事務局長・ 福山大学参事	常勤	財務・企画
理事	牟田 泰三	H28. 5. 27	元福山大学学長・元広島大学学長	非常勤	教育・研究
理事	小林 義和	R 5. 5. 24	(社福)一れつ会相談役	非常勤	経営・財務・教育連携
理事	吉留 義史	R 4. 5. 27	福山平成大学副学長・ 事務局長	常勤	企画・教育連携・ 産学連携
理事	安保 昇	R 5. 5. 24	安保昇税理士事務所所長	非常勤	財務
理事	小澤 興朗	H24. 5. 27	(一財)国際教育協会代表理事	非常勤	教育連携・国際連携
理事	松本 茂太郎	R 3. 7. 22	福山ガス(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	小丸 成洋	R 1. 7. 20	福山商工会議所会頭 福山通運(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	秋山 智昭	R 2. 5. 27	弁護士	非常勤	コンプライアンス

監事数 2人 監事定数 2人

氏 名	就任年月日	常勤・非常勤の別
光波 祥二郎	H28. 5. 27	常勤
山本 昭人	R 5. 5. 24	常勤

私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）

本法人は、令和２年度から私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）に、令和４年度から私大協役員賠償責任保険制度（サイバーリスク保険）に加入している。

１）私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）

団体契約者 日本私立大学協会
被保険者 記名法人 学校法人福山大学、個人被保険者 理事・監事、評議員
補償内容 学校法人におけるガバナンス体制構築の中核を担う学校法人の役員個人に対する賠償責任や争訟費用等を補償
支払限度額 ５億円

２）私大協役員賠償責任保険制度（サイバーリスク保険）

団体契約者 日本私立大学協会
被保険者 学校法人福山大学
補償内容 サイバー攻撃やヒューマンエラーによる個人情報漏洩に起因した賠償責任や個人情報保護法の改正に伴って義務化された事項の対応に必要な各種費用を補償
支払限度額 賠償額１億円及び費用５千万円

（７）評議員の概要（令和６年５月２７日現在）

評議員数 ３５人 評議員定数 ３２人以上３９人まで

氏 名	就任年月日	現職等
赤松 治美	H24. 5. 27	福山商工会議所副会頭・(株)アカシン 代表取締役会長
伊丹 利明	R 4. 5. 27	福山大学副学長・生命工学部教授
井上 敦子	R 4. 5. 27	福山大学薬学部長
入鹿 泰彰	R 4. 5. 27	福山平成大学同窓会会長・(社福)敬友会あおぎ勤務
占部 誠	H18. 5. 27	占部建設工業(株)代表取締役会長
多木 稔明	H19. 5. 27	福山大学経済学部同窓会理事・福山産業(有)代表取締役社長
大島 衣恵	H27. 5. 26	喜多流能楽師・エリザベト音楽大学非常勤講師
大高 弘士	R 4. 5. 27	福山大学事務局長
岡崎 文憲	H17. 5. 27	(学)福山大学参与・福山大学参事
尾崎 史郎	H27. 5. 26	(学)福山大学統括参事・福山大学参事
川久保 和雄	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・経営学部長
北川 祐治	H24. 5. 27	府中商工会議所会頭・(株)北川鉄工所 代表取締役会長・(兼)社長
喜多村 崇	H20. 12. 19	福山大学経済学部同窓会理事・青葉警備保障(株)勤務
熊野 弘幸	R 4. 5. 27	福山通運(株)代表取締役副社長
後藤 浩一	R 6. 5. 27	福山大学後援会会長・(株)松原組勤務
小林 義和	R 2. 5. 27	(社福)一れつ会 相談役
佐々木 重綱	H12. 12. 21	佐々木産業(有)会長
澤崎 眞彦	R 2. 5. 27	東京学芸大学名誉教授・日本教材学会会長
鈴木 省三	H26. 5. 27	(学)福山大学理事長
藺頭 里美	H29. 5. 26	(学)福山大学事務局長・福山大学参事
高田 文夫	R 6. 5. 27	福山平成大学後援会副会長・中国電設工業(株)福山支店勤務
鶴田 泰人	H28. 5. 27	福山大学副学長・薬学部教授
寺岡 晋作	H24. 5. 27	(株)ロイヤルコーポレーション 代表取締役社長
永井 純子	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・福祉健康学部教授
棗田 浩成	H30. 5. 27	福山大学卒業生・(株)三幸社 代表取締役社長
林 克士	H24. 5. 27	福山商工会議所名誉会頭・(株)新鉄道(株)代表取締役会長
平 伸二	H28. 5. 27	福山大学副学長・人間文化学部教授

松本 壮一郎	R 4. 5. 27	山陽染工(株)代表取締役社長
水田 博之	H30. 5. 27	福山大学卒業生・(有)パウワウ 代表取締役社長
牟田 泰三	H22. 6. 1	元福山大学長・元広島大学長
村上 俊二	H28. 5. 27	青葉出版(株)代表取締役会長
山本 覚	R 5. 5. 26	福山大学生命工学部長
吉田 大造	H24. 5. 27	製鐵原料(株)取締役会長
吉留 義史	H28. 5. 27	福山平成大学副学長・事務局長
渡邊 不二夫	H28. 5. 27	フードサポートワタナベ 代表

(8)教職員の概要 (令和6年5月1日現在)

【福山大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
経済学部			16	5	10	2		33	81 ※法人職員 を含む。
人間文化学部		1	11	12	7		2	33	
工学部			20	11	5	3	2	41	
生命工学部		1	22	5	6	1	10	45	
薬学部		1	19	10	4	4	8	46	
センター他	1		4	5	6	4	1	21	
計	1	3	92	48	38	14	23	219	81

(常勤教員 平均年齢 51.1 歳 常勤事務職員等 平均年齢 47.7 歳)

非常勤教員 人数 145 人 平均年齢 53.4 歳

非常勤事務職員等 人数 17 人 平均年齢 65.1 歳

【福山平成大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
学長	1							1	21
経営学部		1	8	2	5			16	
福祉健康学部		1	16	10	10	3	1	41	
看護学部			8	7	6	4	2	27	
センター					2		1	3	
計	1	2	32	19	23	7	4	88	21

(常勤教員 平均年齢 52.8 歳 常勤事務職員等 平均年齢 47.9 歳)

非常勤教員 人数 87 人 平均年齢 54.1 歳

非常勤事務職員等 人数 1 人 平均年齢 50.0 歳

2. 事業の概要

(1) 大学教育改革等の推進

全学共通教育と専門教育、キャリア教育、資格取得教育など、教育の各側面に係る実践の質的向上を一層図り、必要な修学環境の整備に努めた。授業評価アンケートや卒業生アンケートの結果を授業改善に活かすとともに、学修成果の可視化をより進展させた。担任教員は個々の学生の可視化された学修成果をきめ細かい学生指導に役立て、大学及び各学部はPDCAサイクルを意識して、学科並びに大学全体としての教育目標達成度の判定に基づき、必要な改善を行った。さらに、福山大学ではブランディング推進のための研究プロジェクトへの学生の積極的参加を促し、全学部を挙げて「地域にとって頼りがいのある地域の知の拠点」となることを目指し、地域の未来を創る「未来創造人」として学生を育てることに全力を傾注した。

福山大学においては、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、令和7年3月13日に、同機構が定める大学評価基準に適合していると認定された。

(2) 国家試験合格状況（令和7年3月発表分）

第39回管理栄養士国家試験

福山大学生命工学部健康栄養科学科 新卒 12人／ 20人（60.0%）

第110回薬剤師国家試験

福山大学薬学部薬学科 97人／167人（58.1%）

内訳 新卒 68人／ 90人（75.6%）

既卒 29人／ 77人（37.7%）

第37回介護福祉士国家試験、第37回社会福祉士国家試験

福山平成大学福祉健康学部福祉学科

介護福祉士 新卒 7人／ 7人（100.0%）

社会福祉士 新卒 13人／ 15人（86.7%）

第114回看護師国家試験、第111回保健師国家試験、第108回助産師国家試験

福山平成大学看護学部看護学科

看護師 新卒 78人／ 80人（97.5%）

保健師 新卒 14人／ 14人（100.0%）

助産師 新卒 9人／ 9人（100.0%）

(3) 就職状況

（単位：%）

大 学	学 部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福山大学	経済学部	99.5	98.6	99.6	99.6	100.0
	人間文化学部	98.9	100.0	100.0	100.0	96.3
	工学部	100.0	100.0	99.3	99.4	100.0
	生命工学部	99.4	99.4	99.4	100.0	100.0
	薬学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	99.6	99.5	99.6	99.7	99.4
福山平成大学	経営学部	100.0	100.0	97.7	100.0	97.7
	福祉健康学部	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0
	看護学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	99.6	100.0	99.6	100.0	99.6
（参考）全国大学平均		96.0	95.8	97.3	98.1	98.0

(4) 広報活動の推進

福山大学及び福山平成大学のホームページ(公式 WEB サイト)は、来訪者の目的に配慮した内容にするとともに高校生の両大学への興味、関心を高める動画コンテンツを充実させるなど適宜更新を行った。

また、大学案内、入試のしおり、さん・サンメルマガ(年3回)、学報(年4回)の発行、テレビCM及び協賛広告、新聞広告、Web 広告、バス、駅ホームや空港デッキへの看板広告、インスタグラムでの情報発信などを行うとともに新聞記事や情報番組での広報のため、市政記者クラブに学内の行事・トピックス等の情報提供を行った。

(5) グローバル化の推進

福山大学では、新たにチアシム・カムチャイミヤ国立大学(カンボジア)、ペロール工科大学(インド)、マハサラスワティ大学(インドネシア)、ジョモケニヤッタ農工大学(ケニア)と大学間学術教育交流協定の締結を行い、協定校は13カ国36大学となった。

派遣・留学については、福山大学では、米国での語学研修、国際経済学科における韓国、インドネシア・バリ島、ニュージーランドでの海外研修及び生物科学科のラオス研修を実施し計45名の学生を派遣した。大学間学術教育交流協定に基づく受け入れは、転入学生が11名、交換留学生が10名であった。大学教育センターが協定を結ぶインディアナ大学(米国)から英語ティーチングアシスタント1名を受け入れ、福山平成大学では、こども学科のインドネシア研修を実施し計6名の学生を派遣した。

また、両大学共に科学技術振興機構の国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)に採択され、福山大学では、プリンス・オブ・ソンクラ大学(タイ)、ラジャマンガラ工科大学スリビジャヤ校(タイ)、ペロール工科大学(インド)及びジョモケニヤッタ農工大学(ケニア)から学生6名と教員4名が来校、福山平成大学では、タイのプリンス・オブ・ソンクラ大学(タイ)から学生18名と教員2名が来校し、学生と交流を行うなどグローバル化の推進を図った。

さらに福山大学では、令和7年度から開始する文部科学省認定「備後・安芸圏域留学生就職・定着促進教育プログラム」の事前準備として、企業との外国人学生に関する情報交換会を開催し、23社が参加した。

(6) 高等学校との高大連携の充実

福山大学では新たに広島県立西条農業高等学校、岡山県立笠岡工業高等学校、沖縄県立沖縄工業高等学校を加え44校、1教育委員会と、福山平成大学では高等学校32校、1教育委員会と教育に関する交流協定を締結している。

教育ネットワーク中国主催の高大連携公開講座は、福山大学において75人、福山平成大学において28人の高校生が受講した。

大学研究室見学は、福山大学の16研究室に中・高校生46人の参加があった。高等学校への出張講義は、福山大学は5校、福山平成大学は12校で実施した。大学見学は、福山大学では6校294人、福山平成大学では8校242人が来学した。

(7) 地域社会との連携推進

学校法人福山大学社会連携推進センター、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターを拠点として学校、病院、地元企業及び自治体等の地域社会との連携を図った。

また、公開講座の開催、産学連携セミナーの開催、市民フォーラム(食と健康のライフサイエンス)の開催、松永駅前活性化プロジェクト(プロジェクトM)による地域住民との連携、じばさんフェア、ビジネス交流フェアへの参加や地元企業・行政等との受託・共同研究を引き続き行っている。

さらに学校法人福山大学社会連携推進センターでは、4月に「まなびステーション福山大学」を開設し生涯学習部門の中国語・中国文化講座は前後期とも9講座で募集を行い、前期は46名、後期は43名の受講があった。リスキング部門は、前期は12講座、後期は14講座で募集を行い、前期は138名、後期は253名の受講であった。

学校法人福山大学神辺駅前サテライトキャンパスのプレオープンイベントを神辺駅周辺で行

われた地域イベントと連携し実施した。

(8) 寄附金募集活動の推進

学術研究や教育等の充実・発展のための研究・教育支援基金に加え、新たに学生の海外留学費用・国内外研修費用等に使用目的を限定した、海外留学等人材育成寄附金を設置し、合わせて福山大学では155件、福山平成大学では81件の寄附をいただいた。

(9) 施設、設備の整備・充実

施設としては、福山平成大学開学30周年記念行事として建設していた14号館学生会館（日新館）は、令和6年12月に竣工した。また、福山大学聚志館（ものづくり工房）については、令和7年7月竣工に向け建築工事を進めている。

また、福山大学においては、34号館2階講義室照明器具のLED化工事、構内2受電化用電気設備の設置工事、1号館南側エレベーター更新、1～3階トイレ洋便器化及び大講義室防水改修工事、2・3・4号館2階及び19号館3階空調機更新、23号館3階演習室等の改修工事、大学会館給水ポンプ更新、内海生物資源研究所非常用電源発電機設置及び水族館空調機更新など、福山平成大学においては、9号館1階照明器具のLED化工事、6号館アリーナ床改修などを行った。

主要設備としては、保守期間終了等に伴う両大学の学務支援システム（ゼルコバ）、統合認証システム、ICT教室のパソコンの更新、福山大学では、高速液体クロマトグラフ質量分析計、34号館のプロジェクトなどの更新及び23号館改修に伴う什器・備品の購入、文部科学省施設設備整備費補助金に採択されたアイトラッキングシステムとセルソーターシステムの購入、福山平成大学では、基幹ネットワークシステム及び無線インターネットアクセスポイントの更新及び14号館新築に伴う什器・備品の購入などを行い両大学における学生の学修環境の整備・充実を図った。

(10) 既設学科の名称変更及び入学定員の変更

① 名称変更

令和6年4月1日から福山大学工学部スマートシステム学科を同学部電気電子工学科、生命工学部生物工学科を同学部生物科学科、生命工学部生命栄養科学科を同学部健康栄養科学科へ名称変更した。

② 入学定員の変更

令和6年4月1日から福山大学において、次の学科の入学定員を変更した。

経済学部経済学科（170人を180人に増）

経済学部国際経済学科（50人を40人に減）

人間文化学部心理学科（50人を70人に増）

工学部情報工学科（50人を60人に増）

生命工学部生命栄養科学科（健康栄養科学科に名称変更）（50人を40人に減）

生命工学部海洋生物科学科（100人を110人に増）

薬学部薬学科（150人を110人に減）

(11) 法人の活動

① 理事会及び評議員会開催の状況

理事会は、令和6年5月23日（木）、令和6年7月17日（水）、令和6年10月18日（金）、令和6年12月18日（水）及び令和7年3月5日（水）に開催した。

評議員会は、令和6年5月23日（木）、令和6年7月17日（水）、令和6年12月18日（水）及び令和7年3月5日（水）に開催した。

② 会計監査の状況

監事の会計監査は、令和7年5月20日（火）に資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、固定資産明細表、借入金明細表、基本金明細書、財産目録について行われ、監査の結果、学校会計基準に準拠し適正と認められた。

(12) 中期計画の進捗・達成状況

①福山大学、福山平成大学の「中期目標・中期計画」の進捗・達成状況

福山大学

「目的・使命」に関しては、建学の精神に沿って策定された目標を遵守し、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行った。

「教育」に関しては、厳格な成績評価をより推進するため、令和7年度入学生から GPA を Functional GPA へ変更することを決めた。また、副専攻制度の見直しを行い、令和7年度から「学際的副専攻（瀬戸内の里山・里海学コース）」1コースと「学術的副専攻（専門分野コース）」9コースを開設することを決めた。

「学生支援」に関しては、担任制のきめ細かい指導に加え、インターンシップ及び企業説明会などのキャリア形成支援に努め、令和6年度も就職率99%以上を達成した。また、「障害学生支援室」を新設して、障害のある学生が充実した大学生活を送ることができるようにサポートする体制を整えた。

「学生受入れ」に関しては、入学者定員充足率が81.1%と4年連続で前年度を下回った。そのため、令和8(2026)年度入学者選抜から、工学部情報工学科及び生命工学部生物学科・健康栄養科学科の3学科で文系科目（英語と国語）を必須科目として選択できる選抜方法を導入することを決定した。また、令和7年度入学生から、機械システム工学科を機械システムコースと海洋機械コースの2コース制にすることを決めた。

「研究」に関しては、福山大学ブランドの研究プロジェクト「瀬戸内の里山・里海学」について、9つのテーマで研究が実施され、国内外の学術誌、学会での公表、地元メディアでの紹介など順調に推移している。また、科研費の採択数が39件（広島県の私立大学で第2位）、受託研究及び共同研究の受入数が24件であった。

「地域貢献」に関しては、一般市民向けの公開講座（統一テーマ「コロナ明けの備後地域/福山の現状と未来」）を5回開催した。社会連携センター高大連携部を中心として、広島県立西条農業高等学校、岡山県立笠岡工業高等学校、沖縄県立沖縄工業高等学校と新たに教育交流協定を締結した。

「国際交流」に関しては、ソフィア大学（ブルガリア）との交流が順調に展開するとともに、新たな交流協定がチアシム・カムチャイミア国立大学（カンボジア）、ベロール工科大学（インド）、マハサラスワティ大学（インドネシア）、ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア）との間で締結された。また、連続して採択されている「さくらサイエンスプログラム」を通じたタイ、インド、ケニアとの交流も実施した。

「内部質保証」については、令和6年度に公益財団法人日本高等教育評価機構で受審した大学機関別認証評価において、本学が独自に実施してきた自己点検評価活動が「優れた点」として公表された。Institutional Research(IR) 室による分析結果が、平成7年度入学生から GPA を Functional GPA へ変更する根拠資料の1つとなった。

福山平成大学

「目的・使命」に関しては、引き続き建学の精神に基づく教育理念である「全人教育」「人間と自然を尊ぶ教育」「心情と愛の教育」「知行合一の教育」を堅持して、本学の教育にあたった。

また、福山平成大学は開学30周年を迎え、令和7年2月16日（日）に日新館において記念式典を挙行了した。

「教育」に関しては、文部科学省に認定された数理・データサイエンス・AI教育プログラムを全学的に推進し、履修者数を着実に増加させた。また、教育のDX化に向けてFD研修会を開催し、ICTツール活用を促進した。

「学生支援・教育環境」に関しては、少人数教育の利点を最大限生かして、きめ細かい教育・学生指導に努め、国家試験や資格試験の高い合格率や高い就職率を維持した。特に福祉学科では、社会福祉士国家試験合格率86.7%で広島県内私立大学第1位、及び介護福祉士国家試験8年連続合格率100%を達成した。看護学科・助産学専攻科では、看護師国家試験合格率97.5%、保健師国家試験合格率100%、助産師国家試験合格率100%を達成した。また、日新館の完成により、アクティブラーニング環境が一層充実した。

「学生受入れ」に関しては、多様な人材を多面的に評価できるようにするため看護学部にも総合型選抜を導入するとともに経営・福祉健康学部の総合型選抜の試験実施方法の一つにオープン

キャンパス参加型を導入した。また、SNSを活用した学生広報アンバサダー制度の導入など、広報強化を図った。

「研究」に関しては、FD研修会やFDワークショップなどを開催して研究支援を行い、また全学横断的な自主研究サークル「コンベルサ・ラウンジ」を継続開催して若手教員の研究意欲を高めた結果、科学研究費助成事業への応募数が大幅に増加した。

「社会連携・国際交流」に関しては、看護学科及び福祉学科でプリンス・オブ・ソンクラ大学（タイ）との「さくらサイエンスプログラム」が採択され、それぞれ成功を収めた。また、インドネシアへの海外研修を実施した。毎年開催している高校生を対象とした英語プレゼンテーションコンテストは、多くの参加校・参加者を得て、地元高校に大きく貢献した。

「内部質保証」に関しては、専任教員が教育活動、研究活動、大学運営への貢献、社会連携・地域貢献活動について目標・計画書を作成し、当該年度末に達成状況を評価・自己点検を実施し、PDCAサイクルに活用する手順を確立した。また、毎年実施している卒業生及び卒業生の就職先企業等を対象としたアンケート調査を行い、集計・分析結果を教育改善に活用するよう努めた。

②教職員人事に関する状況

専任教員数（助手を除く。）は、福山大学196名、福山平成大学84名で、設置基準を福山大学は25名、福山平成大学は11名上回っているものの、専任教職員数は中期計画を下回っている。

③施設整備計画に関する進捗状況

福山平成大学14号館学生会館（日新館）の工事は予定どおり完工し、令和6年12月に竣工した。また、福山大学聚志館（ものづくり工房）新築工事については、令和6年5月に地鎮祭を執り行い、令和7年7月竣工に向け建築工事を進めている。

④財務計画に関する進捗状況

中期計画の令和6年度の基本金組入前当年度収支差額を925,674千円の支出超過と見込んでいたが、学生生徒等納付金収入の減等により1,256,292千円の支出超過となった

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定資産	59,332,723	58,017,187	57,662,248	56,592,472	55,588,816
流動資産	5,239,149	5,266,079	5,031,827	4,869,400	4,752,725
資産の部合計	64,571,872	63,283,266	62,694,075	61,461,872	60,341,541
固定負債	2,133,089	2,006,898	1,896,514	1,805,655	1,860,392
流動負債	2,633,623	2,538,928	2,435,750	2,198,436	2,279,661
負債の部合計	4,766,712	4,545,826	4,332,264	4,004,091	4,140,053
基本金	56,263,973	55,354,235	55,233,881	55,245,221	56,090,290
繰越収支差額	3,541,187	3,383,205	3,127,930	2,212,560	111,198
純資産の部合計	59,805,160	58,737,440	58,361,811	57,457,781	56,201,488
負債及び純資産の部合計	64,571,872	63,283,266	62,694,075	61,461,872	60,341,541

イ) 財務比率の経年比較

比 率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
固定資産構成比率	91.9%	91.7%	92.0%	92.1%	92.1%
有形固定資産構成比率	49.2%	49.7%	49.2%	50.1%	52.8%
特定資産構成比率	42.6%	41.9%	42.7%	41.9%	39.3%
流動資産構成比率	8.1%	8.3%	8.0%	7.9%	7.9%
固定負債構成比率	3.3%	3.2%	3.0%	2.9%	3.1%
流動負債構成比率	4.1%	4.0%	3.9%	3.6%	3.8%
内部留保資産比率	43.1%	42.6%	43.5%	42.9%	40.0%
運用資産余裕比率	4.3年	3.9年	4.1年	3.9年	3.6年
純資産構成比率	92.6%	92.8%	93.1%	93.5%	93.1%
繰越収支差額構成比率	5.5%	5.3%	5.0%	3.6%	0.2%
固定比率	99.2%	98.8%	98.8%	98.5%	98.9%
固定長期適合率	95.8%	95.5%	95.7%	95.5%	95.7%
流動比率	198.9%	207.4%	206.6%	221.5%	208.5%
総負債比率	7.4%	7.2%	6.9%	6.5%	6.9%
負債比率	8.0%	7.7%	7.4%	7.0%	7.4%
前受金保有率	210.6%	216.3%	218.3%	235.2%	200.6%
退職給付引当特定資産保有率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
基本金比率	99.2%	99.3%	99.4%	99.5%	99.4%
減価償却比率	52.7%	52.4%	53.8%	54.6%	54.1%
積立率	124.7%	123.8%	122.4%	117.8%	110.1%

②資金収支計算書関係

ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生生徒等納付金収入	5,995,506	5,743,599	5,554,434	5,336,857	5,045,163
手数料収入	106,282	96,021	89,671	83,510	88,123
寄付金収入	31,806	29,445	25,957	12,895	31,166
補助金収入	918,765	1,021,742	1,166,520	1,010,267	998,640
資産売却収入	0	0	400	0	0
付随事業・収益事業収入	53,994	65,803	57,601	50,898	56,984
受取利息・配当金収入	83,415	63,115	51,733	56,181	58,177
雑収入	149,644	310,821	204,775	239,816	167,406
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	2,379,733	2,268,477	2,176,218	1,932,641	1,988,436
その他の収入	12,903,127	15,742,004	14,786,254	7,433,768	13,306,254
資金収入調整勘定	△2,573,122	△2,614,054	△2,432,274	△2,388,202	△2,076,549
前年度繰越支払資金	5,032,786	5,011,201	4,905,904	4,751,155	4,544,859
収入の部合計	25,081,936	27,738,174	26,587,193	18,519,786	24,208,659

支出の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費支出	3,810,834	4,002,768	3,843,189	3,943,602	3,892,382
教育研究経費支出	2,496,021	2,843,934	2,385,941	2,432,716	2,426,817
管理経費支出	276,995	276,422	291,145	317,387	304,815
借入金等利息支出	6,570	5,659	4,748	3,837	2,926
借入金等返済支出	47,760	47,760	47,760	47,760	47,760
施設関係支出	3,871,817	215,955	212,518	779,256	1,644,024
設備関係支出	518,499	796,971	261,792	149,071	469,212
資産運用支出	6,702,982	12,300,000	12,303,054	3,906,336	9,043,851
その他の支出	2,484,885	2,463,472	2,588,540	2,486,189	2,618,376
資金支出調整勘定	△145,628	△120,671	△102,648	△91,227	△229,756
翌年度繰越支払資金	5,011,201	4,905,904	4,751,154	4,544,859	3,988,252
支出の部合計	25,081,936	27,738,174	26,587,193	18,519,786	24,208,659

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金 収入計	7, 230, 592	7, 215, 394	7, 079, 958	6, 719, 612	6, 356, 556
教育活動資金 支出計	6, 583, 850	7, 123, 124	6, 520, 274	6, 693, 706	6, 624, 013
差引	646, 742	92, 270	559, 684	25, 906	△267, 457
調整勘定等	△17, 924	△229, 964	△41, 795	△265, 828	126, 218
教育活動資金収支 差額	628, 818	△137, 694	517, 889	△239, 921	△141, 239
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動 資金収入計	10, 130, 202	12, 159, 655	8, 059, 314	4, 901, 331	9, 929, 844
施設整備等活動 資金支出計	11, 090, 315	12, 312, 926	8, 784, 224	4, 828, 327	10, 613, 235
差引	△960, 113	△153, 271	△724, 910	73, 004	△683, 391
調整勘定等	34, 272	4, 203	16, 176	△40, 659	94, 821
施設整備等活動 資金収支差額	△925, 841	△149, 068	△708, 734	32, 345	△588, 570
小計（教育活動資金収 支差額＋施設整備等活 動資金収支差額）	△297, 023	△286, 762	△190, 845	△207, 576	△729, 809
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金 収入計	2, 710, 263	3, 588, 903	6, 563, 752	2, 439, 451	3, 253, 529
その他の活動資金 支出計	2, 434, 825	3, 407, 438	6, 527, 657	2, 438, 171	3, 080, 326
差引	275, 438	181, 465	36, 095	1, 280	173, 203
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金 収支差額	275, 438	181, 465	36, 095	1, 280	173, 203
支払資金の増減額（小 計＋その他の活動資金 収支差額）	△21, 585	△105, 297	△154, 750	△206, 296	△556, 606
前年度繰越支払資金	5, 032, 786	5, 011, 201	4, 905, 904	4, 751, 154	4, 544, 858
翌年度繰越支払資金	5, 011, 201	4, 905, 904	4, 751, 154	4, 544, 858	3, 988, 252

ウ)財務比率の経年比較

比 率	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
教育活動資金収支 差額比率	8.7%	△1.9%	7.3%	△3.6%	△2.2%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	5,995,506	5,743,599	5,554,434	5,336,857	5,045,163
	手数料	106,282	96,021	89,671	83,510	88,123
	寄付金	43,983	13,156	22,179	12,975	31,166
	経常費等補助金	896,153	986,209	1,151,520	995,636	967,714
	付随事業収入	53,994	65,803	57,601	50,898	56,984
	雑収入	149,644	310,905	204,777	239,824	167,425
	教育活動収入計	7,245,562	7,215,693	7,080,182	6,719,700	6,356,575
	事業活動支出の部					
	人件費	3,814,215	3,909,161	3,794,413	3,936,357	3,908,038
	教育研究経費	3,341,814	3,780,044	3,367,636	3,387,729	3,398,067
	管理経費	350,216	339,877	355,387	374,697	358,101
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	7,506,245	8,029,082	7,517,436	7,698,783	7,664,206
	教育活動収支差額	△260,683	△813,389	△437,254	△979,083	△1,307,631
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	83,440	63,139	53,891	60,505	62,489
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	83,440	63,139	53,891	60,505	62,489
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	6,570	5,659	4,748	3,837	2,926
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	6,570	5,659	4,748	3,837	2,926
	教育活動外収支差額	76,870	57,480	49,143	56,667	59,563
	経常収支差額	△183,813	△755,909	△388,111	△922,416	△1,248,068
	事業活動収入の部					

特別収支	資産売却差額	0	0	400	0	0
	その他の特別収入	28,884	54,155	20,689	20,512	34,374
	特別収入計	28,884	54,155	21,089	20,512	34,374
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	134	365,965	8,607	2,127	42,598
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	134	365,965	8,607	2,127	42,598
	特別収支差額	28,750	△311,810	12,482	18,385	△8,224
基本金組入前当年度収支差額		△155,063	△1,067,719	△375,629	△904,030	△1,256,292
基本金組入額合計		△96,614	△150,000	0	△11,339	△845,070
当年度収支差額		△251,677	△1,217,719	△375,629	△915,369	△2,101,362
前年度繰越収支差額		3,792,864	3,541,187	3,383,205	3,127,930	2,212,560
基本金取崩額		0	1,059,737	120,354	0	0
翌年度繰越収支差額		3,541,187	3,383,205	3,127,930	2,212,560	111,198

(参考)

事業活動収入計	7,357,886	7,332,987	7,155,162	6,800,717	6,453,439
事業活動支出計	7,512,949	8,400,706	7,530,791	7,704,747	7,709,731

イ)財務比率の経年比較

比 率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費比率	52.0%	53.7%	53.2%	58.1%	60.9%
人件費依存率	63.6%	68.1%	68.3%	73.8%	77.5%
教育研究経費比率	45.6%	51.9%	47.2%	50.0%	52.9%
管理経費比率	4.8%	4.7%	5.0%	5.5%	5.6%
借入金等利息比率	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
事業活動収支差額比率	△2.1%	△14.6%	△5.2%	△13.3%	△19.5%
基本金組入後収支比率	103.5%	117.0%	105.2%	113.5%	137.5%
学生生徒等納付金比率	81.8%	78.9%	77.9%	78.7%	78.6%
寄付金比率	0.7%	0.4%	0.4%	0.3%	0.5%
経常寄付金比率	0.6%	0.2%	0.3%	0.2%	0.5%
補助金比率	12.5%	13.9%	16.3%	14.9%	15.5%
経常補助金比率	12.2%	13.5%	16.1%	14.7%	15.1%
基本金組入率	1.3%	2.0%	0.0%	0.2%	13.1%
減価償却額比率	12.0%	12.4%	13.9%	13.1%	13.4%

経常収支差額比率	△2.5%	△10.4%	△5.4%	△13.6%	△19.4%
教育活動収支差額比率	△3.6%	△11.3%	△6.2%	△14.6%	△20.6%

(2) その他

①有価証券の状況

(単位：千円)

種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	8,493,770	8,309,382	△184,388
投資信託	81,369	81,479	110
その他	0	0	0
合 計	8,575,139	8,390,861	△184,278
時価のない有価証券	1,100,000		
有価証券合計	9,675,139		

②借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高	利率	返済期限	借入対象資産
日本私立学校振興・共済事業団	45,540	年2.1%	R 8. 9. 15	福山平成大学看護学部棟
日本私立学校振興・共済事業団	51,330	年1.7%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
日本私立学校振興・共済事業団	23,640	年1.8%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
合 計	120,510			

③学校債の状況

学校債は発行していない。

④寄付金の状況

(単位：千円)

寄付金の種類	金 額
特別寄付金	31,142
一般寄付金	23
現物寄付	3,447
計	34,612

⑤補助金の状況

(単位：千円)

補助金の種類	金 額
国庫補助金	996,682
地方公共団体補助金	1,958
その他	0
計	998,640

⑥収益事業の状況

私立学校法に規定する収益事業は行っていない。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア)関連当事者

該当取引なし。

イ)出資会社

該当取引なし。

⑧学校法人間財務取引

該当取引なし。

⑨経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

令和6年度決算における基本金組入前当年度収支差額は1,256,292千円の支出超過であったが、運用資産余裕比率は3.6年で全国平均（令和5年度）1.5年の2.4倍と十分な資産を有しており、総負債比率も6.9%で全国平均（令和5年度）13.9%を大きく下回っており、財務状況は極めて安定しているといえる。

財政面に関しては安定的に推移しているが、事業活動収支を黒字にすることが当面の課題である。そのためには、収容定員充足率の向上による安定した学納金の確保、経費削減や効率的支出を行いつつ、快適な修学環境の維持・向上のための施設・設備の整備・充実、大学の魅力を的確に伝えるための広報活動の充実が必要である。

令和3年度以降収容定員充足率が低下しているが、その要因としては、令和2年以降新型コロナウイルス感染症の影響で募集活動の展開が困難であった（対面によるオープンキャンパスや高校訪問等を中止した）ことのほか、近年の近隣大学の入学金引き下げにより入学金が相対的に高額となり、このことが受験、入学手続きに影響していることも考えられる。そのため、令和6年度入学生からは入学金の減額等の学納金の改定を行い、令和6年度に行った令和7年度入学試験において、入学手続者及び入学者が前年度を上回った。今後ともより一層の積極的な募集活動の展開や広報活動の充実を行い、受験者、入学手続者、入学者の増加を図り、安定した学納金収入を目指す。

参考 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況(令和7年5月1日現在)

【福山大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経済学部	経済学科	360	180	168	700	652
		国際経済学科	54	40	22	180	101
		税務会計学科	69	50	47	200	165
	人間文化学部	人間文化学科	108	50	53	200	186
		心理学科	163	70	76	240	263
		メディア・映像学科	79	50	54	200	201
	工学部	電気電子工学科	30	30	12	120	54
		建築学科	111	70	58	280	221
		情報工学科	175	60	62	220	225
		機械システム工学科	54	50	17	200	66
	生命工学部	生物科学科	63	50	20	200	83
		健康栄養科学科	69	40	31	180	106
		海洋生物科学科	361	110	135	420	449
	薬学部	薬学科(6年制)	297	110	92	820	609
	計		1,993	960	847	4,160	3,381
大学院	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	4	8	4	16	6
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	11	10	7	20	10
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	2	2	2	4	3
		修士課程 建築学専攻	1	3	1	6	3
		修士課程 情報処理工学専攻	2	2	2	4	5
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0
		博士前期課程 生命工学専攻	2	8	1	16	3
	修士課程、博士前期課程 計		22	35	17	70	30
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	0	2	0	6	0
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0
		博士後期課程 生命工学専攻	0	4	0	12	1
	薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	1	3	1	12	4
	博士課程、博士後期課程 計		1	14	1	45	5
	計		23	49	18	115	35
	合 計		2,016	1,009	865	4,275	3,416

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等		学科等		志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経営学部	経営学科		99	50	46	200	186
	福祉健康学部	福祉学科		31	60	17	240	86
		こども学科		112	50	60	200	185
		健康スポーツ科学科		136	100	103	400	379
	看護学部	看護学科		196	80	75	320	296
	計			574	340	301	1,360	1,132
大学院	経営学研究科	修士課程	経営情報学専攻	0	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程	スポーツ健康科学専攻	5	5	5	10	7
	看護学研究科	修士課程	看護学専攻	6	5	5	10	8
	計			11	15	10	30	15
専攻科	助産学専攻科			30	10	7	10	7
合 計				615	365	318	1,400	1,154

収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
福山大学	学 部	90.6	87.5	83.2	80.0	81.3
	大学院	40.0	35.7	31.3	27.8	30.4
福山平成大学	学 部	84.0	84.1	83.4	82.8	83.2
	大学院	26.7	26.7	33.3	33.3	50.0
	専攻科	100.0	70.0	90.0	90.0	70.0